

会 議 録		令和7年2月7日作成	令和10年3月末日廃棄
会議名	京都府南丹警察署協議会（令和6年度第3回）		
開催日	令和7年2月5日（水曜日）		
時 間	午後3時から午後4時45分までの間（105分）		
場 所	京都府南丹警察署 講堂		
出席者	橋本会長、廣瀬委員、山下委員、塩内委員、畠中委員、山内委員、春田委員、海野委員 （欠席 森委員） 計8人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、警備課長、広聴相談係長 計9人		
諮 問 事 項	犯罪抑止対策対策について		
会 議 内 容	1 署長挨拶司会 副署長 2 会長挨拶 3 京都府警察署協議会会長会議結果報告～会長 4 協議司会 会長 （1）諮問事項説明 犯罪抑止対策について～生活安全課長 （犯罪情勢、特殊詐欺被害の現状、当署の取組等） 【委員】特殊詐欺被害防止として、管内の大学と連携したポスター制作や、各種イベントの際、警察ブースを設置して国際電話を休止するための広報等、住民目線に立った取組をしていることが分かり、頼もしく感じる。 本日、説明を受けた特殊詐欺の現状や手口等を住民の方々に広報させていただく。 【警察】犯罪者は新たな手口を生み出していることから、警察としては新たな手口を上回る広報の方法を考案し続けていく。特殊詐欺被害を防止するための意識付けは、お金の話題が出たら詐欺であると認識する、違和感を感じることである。住民の方への意識付けのために戦略的かつ効果的な情報発信に努める。 【委員】予兆案件について説明を受けたが、自治体に対しても予兆案件の相談が数多く寄せられている。自治体が受理した予兆案件の相談を警察と共有するこ		

会 議
内 容

とで行政機関が一体となり、総合的な特殊詐欺被害防止対策が可能であると考ええる。

【委員】管内は過疎化が進んでおり、高齢者の独居世帯が数多くある中、南丹署には府下警察署で最多の20駐在所があり、勤務員の小まめな巡回連絡による高齢者の体調を労わる声掛けや、特殊詐欺被害防止のための活動は住民に安心感を与えている。

【警察】管内の80パーセントは丹波高原と言われる山間地帯であり、高齢者の独居世帯が多い地理的環境と生活実態から、地元根差した警察活動を行う駐在所勤務員を中心として広報活動を推進している。また地域性から近隣住民同士のつながりが強いことから、警察広報の伝播性が高いと認められ、犯罪抑止に向けた警察と住民が連携しやすい環境にあると感じている。

【委員】管内では、コンビニエンスストアに誘導して電子マネーカードを購入させる手口が多く発生し、未然防止に貢献した店員に感謝状を贈呈していると説明を受けたが、コンビニエンスストアとの連携方策についてお聞きしたい。

【警察】管内には17店舗のコンビニエンスストアがあり、店長や店員に対して電子マネーカードを購入する高齢者や通話しながら電子マネーカードを品定めしている来店客に対する声掛け要領等の防犯指導を随時実施している。

【委員】突然、見知らぬメールアドレスから、ロマンス詐欺が疑われる内容や大企業をかたる内容の詐欺メールが届いたことがあったが、以前、あるイベントで南丹署員が広報啓発していた詐欺の内容と同じだったことから、直ぐに看破できた。引き続き、住民全般に行き渡る広報啓発活動をお願いします。

【警察】防犯ボランティアや地元ケーブルテレビとの連携等、住民の視点に立って、引き続き、住民の防犯意識向上を訴求する広報啓発活動を推進する。

(2) その他

【委員】管内の観光名所にはたくさんの外国人観光客が観光バスを利用して訪れているが、中には台数は少ないがタクシー営業に必要な認可を受けず自家用車で営業している、いわゆる、白タクを利用して訪れており、白タクの違法駐車や観光地への違法立入の問題が見受けられる。

【警察】白タク営業は日本各地の観光地において問題化している。当署にあつては交通課と地域課を中心として、パトロールや取締り活動を徹底する。

【委員】今年4月開幕の「大阪・関西万博」や来年の秋に開催予定の「全国都市緑化フェアin京都丹波」に向けて、丹波3市町では周遊観光の促進のための発信が強化されており、人流の活発化が見込まれることから、犯罪抑止・交通安全の両面で対策をお願いします。

【警察】人流が活発化すれば、人や車の流入が見込まれることから、犯罪者を寄せ付けない、違法駐車等の交通法令違反をさせない環境づくりのために、まずは警察官や赤色灯を搭載している警察車両による見せる活動を徹底する。

【委員】警察は他の公的機関と比べて住民との接点が多いと考えられることから、京都府警察署協議会会長会議結果報告にあったとおり、南丹署の「障がいのある方への理解と適切応接」の取組が警察全体に広がれば、心のバリアフリ

会 議 内 容	一と共生社会の実現が前進すると考える。 【警察】当署にあつては、平素から人権教養施策を推進し、部外講師による講演、手話通訳者の資格を有する署員を講師とした手話サークル活動、幹部からの指示教養を行う等、障がいのある人の心情と人権に配意し、障がいのある人の立場に立って、適切な府民応接で職務執行することが警察活動への協力と支持信頼の確保につながることを意識付けする機会教養を行っている。 【委員】引き続き、人権に関して、多角的な思考、素養及び倫理観を醸成する署員教養をお願いする。 【委員】警察官が活動している姿、パトロールしているパトカーをよく見掛ける。住民からは、登下校時の学童警戒や人・車の往来が少ない死角となるような場所を重点的にパトロールしてくれているといった話も聞く。引き続き、住民に安心感を与える、住民目線の活動をお願いする。 【委員】警察署協議会の役割は、地元住民の声を警察に届けて警察の業務に活かすことであるが、警察署協議会において警察が住民に広報したい内容を説明することで、各委員が地元住民に広報することも可能であると考える。 【委員】先般、南丹警察署寒中武道訓練納め試合・大震災警備訓練を見学したが、非常に頼もしく心強く感じた。引き続き、治安維持を国民から負託されているという意識を堅持して、地域住民が安全安心を実感し、地域住民から協力と支持信頼を得られる警察活動をお願いする。 【警察】引き続き、南丹市民・京丹波町民の声に応える適正な警察活動を推進していく。 【警察】本日の各委員からの意見については、今後の警察署業務の参考とさせていただきます。 以上
--------------------	--

第3回京都府南丹警察署協議会の開催状況

